



私たちの生活を豊かに彩ってくれる芸術・文化活動。何が人をひきつけるのか、キラリと輝く皆さんにその魅力を聞きました。



郷土民謡

歴史紡ぐ 地域に伝承された唄

郷土民謡は、人々の生活や労働の中で生まれ、人から人へと現在まで歌い継がれてきました。その土地の風土、歴史、人々の生活などさまざまなものが歌詞になっていますが、中でも労働に関するものが多く残っています。重機などの便利な機械がない時代、大規模な工事には数千人が動員され、作業員一人一人が息を合わせるために、掛け声をかけることで仕事の効率を上げていたのです。その掛け声や言葉に自然とリズムや音階がつき、いつしか歌になり、仕草と一緒に民謡として後世に歌い継がれてきました。

多くの郷土民謡は、口伝だけで受け継がれ、作詞・作曲は不明です。楽譜が存在しないことももちろんありますし、同じ歌でも地域ごとにメロディーやテンポが少し違うこともあります。そのため、うまい、下手という判

断基準がなく、伸び伸びと自信を持って歌うことができるのも魅力の一つ。歌によっては和楽器の演奏を合わせることもあるので、仲間との一体感が生まれ、達成感にもつながります。

また、郷土民謡を学んでいると、地域の歴史を知ることできます。例えば、高槻では府の無形民俗文化財の「淀川三十石船唄」が有名ですが、その他にも高槻の2大産業と言われた寒天作りや富田の酒造りの歌も残っています。当時の人々がどのように働いていたか、その仕草や歌詞から歴史的背景とともに人々の感情などを感じ取ることができるのも面白いですね。

郷土民謡を学ぶ目的は、上手に歌うことだけではなく、後世に伝え、残すことです。高槻の民謡を共に学び、残したいという志がある人は、ぜひ一度体験してみてください。



教えてくれた人
高槻伝承民謡保存会
藤本秀根さん



郷土民謡を始めたい人は

場所 市内各所

問合 Tel.090-7095-1579 (フジモト)

YouTubeで
動画も公開中
ID 154656